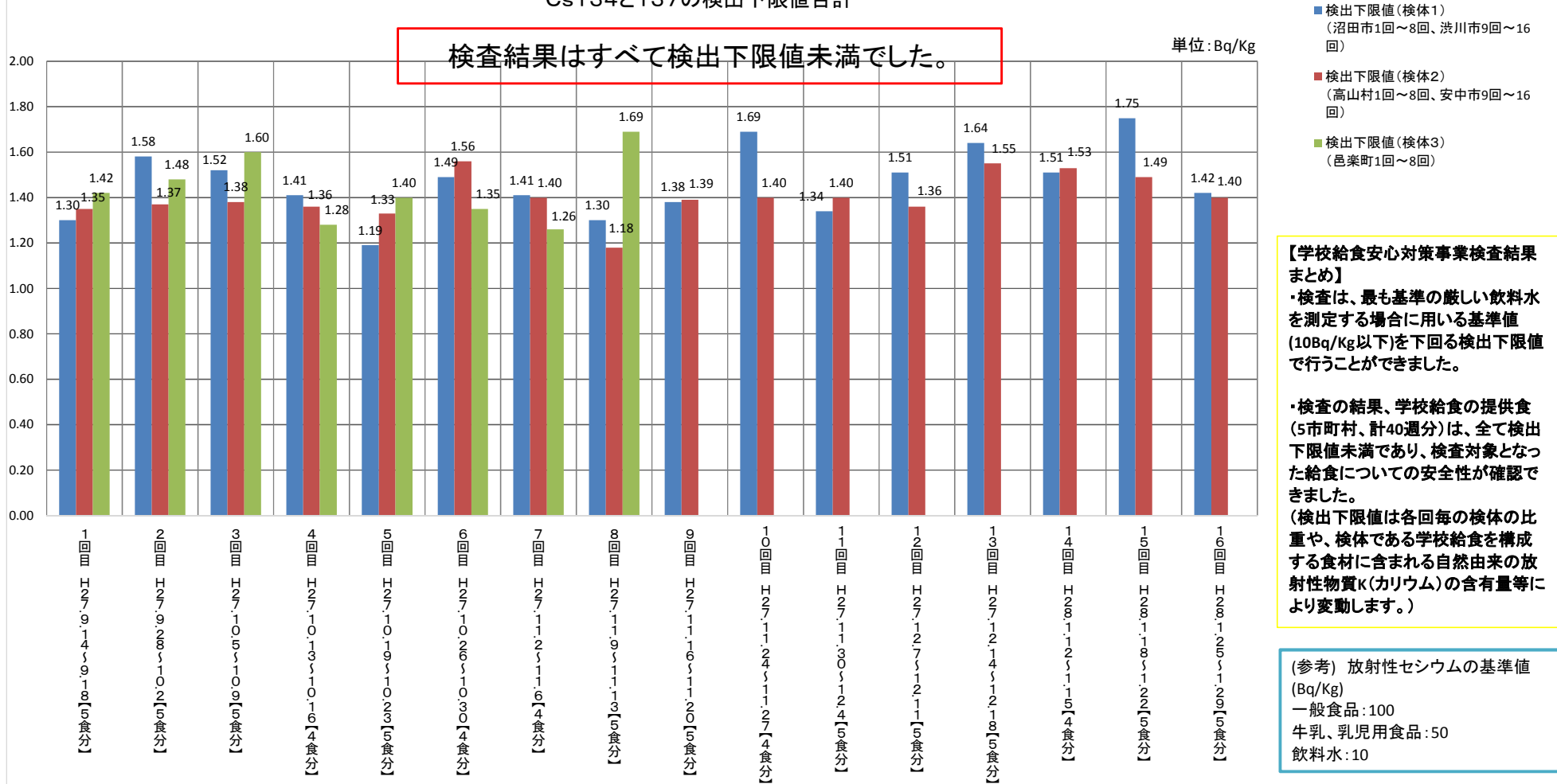


Cs134と137の検出下限値合計

検査結果はすべて検出下限値未満でした。

単位: Bq/Kg



**【学校給食安心対策事業検査結果まとめ】**  
 ・検査は、最も基準の厳しい飲料水を測定する場合に用いる基準値(10Bq/Kg以下)を下回る検出下限値で行うことができました。  
 ・検査の結果、学校給食の提供食(5市町村、計40週分)は、全て検出下限値未満であり、検査対象となった給食についての安全性が確認できました。  
 (検出下限値は各回毎の検体の比重や、検体である学校給食を構成する食材に含まれる自然由来の放射性物質K(カリウム)の含有量等により変動します。)

(参考) 放射性セシウムの基準値 (Bq/Kg)  
 一般食品: 100  
 牛乳、乳児用食品: 50  
 飲料水: 10